

リボソームに含まれる遺伝情報に基づく微生物の迅速・簡便同定

S10-GERMS法とMultiNAによる微生物同定法

発表日:3月23日(金) 時間:12:30~13:20 会場:B18会場(B校舎 5F B514)

名城大学 農学部: 田村 廣人先生、堀田 雄大先生、細田 晃文先生

近年、種々のバイオマーカーを指標としたMALDI-TOF-MSを用いた微生物同定法が報告されている。本セミナーでは、リボソームの持つ遺伝情報(遺伝子とタンパク質)を融合した再現性と信頼性の高い種および株レベルでの迅速・簡便微生物同定法(S10-GERMS法)を紹介する(図1)。また、本法とMultiNAを用いたPCR-RFLPによる微生物同定法のそれぞれの特徴を比較紹介する(図2)。

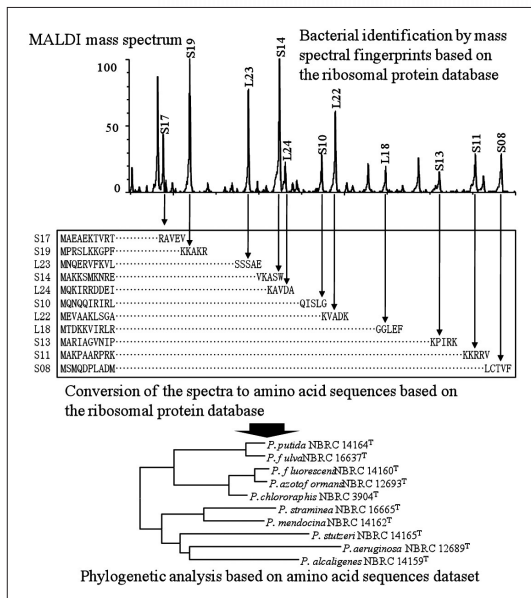


図1. S10-GERMS法による微生物同定

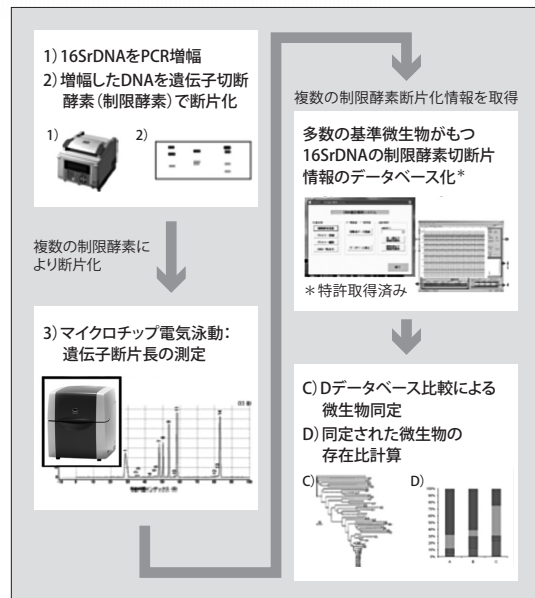


図2. PCR-RFLPによる定量的微生物同定



マトリックス支援レーザー脱離イオン化飛行時間型質量分析計

AXIMA Performance